

「劣等児」「特別学級」の 思想と実践

大阪芸術大学短期大学部
通信教育部特任教授

阪本美江 著

SAKAMOTO Yoshie

関連領域

教育史
近代史
公教育
大正デモクラシー
新教育
特別支援教育
思想
教育行政・政策
精神薄弱児(者)
養護

教育と思想、教育と政策・制度、教育と社会
その中の児童と家庭と、目の前の現実に
正面から立ち向かう教師たち…

“奈良県”から見えてきた
大正末から昭和初期日本の
教育“現場”の実態を
一次資料で浮き彫りにし
課題を鮮明化する。

近代日本教育史の
一隅に響く
思想と実践の相克を
丁寧にとどめて
見えてきたものとは…

戦前の「特別学級」は、

今日の特別支援学級とは全く同一のものとはいえないが、
同様に“特別な教育的ニーズのある子どもたち”を、それぞれの
能力や個性に応じて教育をおこなっていたという点で共通するものであり、
今日の特別支援学級の先駆的な事例として高く評価されている。
また、当時の「特別学級」や「劣等児」を研究することは、
今日の個性尊重教育や能力別学級等への何らかの示唆となり得るのみならず、
当時の教師陣が創意工夫をしながら「劣等児」「救済」に尽力した形跡を
明らかにすることで、今の教育や教師の在り方そのものを
問い直すきっかけにもなるのではないかと考え、
「特別学級」史研究の意義を強く感じたのである。(著者“はしがき”より)

2021年5月発行

学術資料出版

大空社出版

「劣等児」「特別学級」の思想と実践

阪本美江 著

2021年5月発行

978-4-908926-52-5

A5判・上製・280頁・カバー

定価4,400円

(本体4,000円+税10%)



「劣等児(学業不振児)」のための「特別学級」は、過去の「終わった」歴史ではない。

豊富な一次資料で解明
浮かび上がる実態

西村拓生
(奈良女子大学教授)

阪本さんの研究は、奈良県という地域に着目して、これまで研究対象とされてこなかった一次資料を豊富に用いて当時の実態を具体的に解明する、という点で「劣等児」「特別学級」史研究に重要な貢献をなすものである。また、青木誠四郎と乗杉嘉壽の「劣等児」観の検討や奈良女子高等師範学校附属小学校と桜井尋常小学校における「新教育」の理念と「特別学級」実践の検討から浮かび上がった、「新教育」と「劣等児」「特別学級」とのアンビバレントな関係は、両者の関係をめぐるこれまでの学会での議論に、思想研究の視点から大きな一石を投じるものである。(本書「序」より)

【著者紹介】(さかもと・よしえ)

1968年生まれ。大阪女子大学学芸学部卒業(教育学専攻)。2014年奈良女子大学人間文化研究科博士後期課程修了(社会生活環境学専攻)。博士(文学)。2017年4月より大阪芸術大学短期大学部通信教育部保育学科特任教授。

❖本書で取り上げられた主な校名・人名等

(奈良県) 奈良女子高等師範学校附属小学校
桜井尋常高等小学校
治道尋常高等小学校
奈良師範学校
(東京市) 東京高等師範学校附属小学校
林町尋常小学校
万年尋常小学校

青木誠四郎	齋藤千榮治	乗杉嘉壽
乙竹岩造	齋藤諸平	樋口長市
小原國芳	眞田幸憲	ヘルバルト
笠原道夫	清水甚吾	脇田良吉
木下竹次	杉田直樹	
黒沼勇太郎	関野嘉雄	京都市特別児童教育研究会
ゴダード	田村一二	文部省社会教育課
小林佐源治	デューイ	

キーワード

文部官僚 奈良・東京・京都 障害児教育 個人と国家 遺伝と優生学 格差(教育、学力、経済、社会) 知能検査 個性尊重 綴方・読方教授 労作教育 映画教育 学級編制

❖内容・構成

(主要人物等)

序章 実態の把握から課題の設定へ

【「特別学級」設置の第一・第二隆盛期／「特別学級」の対象、形態、目的／奈良県の実態／「劣等児」「低能児」とはどのような児童たちか】

《第1部》 戦前における「特殊教育」政策と「劣等児」観

第1章 大正デモクラシー期の文部省関係者の「特殊教育」観

【青木誠四郎／乗杉嘉壽】

第2章 戦前における「劣等児」「低能児」認識

【脇田良吉(乙竹岩造や欧米の影響)／東京高師附小(樋口長市、小林佐源治、黒沼勇太郎)】

《第2部》 大正末期から昭和初期における文部省全国調査にみる「特別学級」の全国的傾向と文部省「推奨校」治道尋常高等小学校の実態

第3章 大正期末から昭和初期における文部省全国調査の概要

1924年発行『特別学級編制に関する調査』に着目して

第4章 文部省「推奨校」としての治道尋常高等小学校

《第3部》 奈良女高師附小訓導齋藤千榮治の「劣等児」「低能児」論とその展開：京都市の小学校における齋藤の理論や実践の継承に着目して

第5章 奈良女高師附小「特別学級」の開設【眞田幸憲】

第6章 「特別学級」の概要と齋藤の「劣等児」「低能児」論

第7章 京都市の小学校における「特別学級」の実践

田村一二との関係に着目して

《第4部》 桜井尋常高等小学校の「特別学級」と「新教育」

第8章 桜井小学校の「新教育」

【ドルトン・プラン／芸術教育、綴方教育、映画教育、労作教育／全国初等教育研究会】

第9章 西久保奈良石における「劣等児」概念と「低能児」概念

第10章 桜井小学校における「特別学級」の実態と思想

【「特別学級」の編制／分団教育】

終章 「特別学級」史研究が問うものは

戦前「劣等児」「特別学級」関連年表／引用・参考文献／索引

京都「特別学級」成立史研究 史料と論究

玉村公二彦 著
京都女子大学教授

〈2021年2月刊(大空社出版)〉

978-4-908926-53-2 B5判・上製・640頁・カバー
定価18,800円(本体17,091円+税10%)

学術資料出版
大空社出版

資料に命、いのちを
作品に心、こころを
形にして伝える。

www.ozorasha.co.jp

・お取扱

eigyo@ozorasha.co.jp

TEL:03-5963-4451 / FAX:03-5963-4461

東京都北区中十条 4-3-2 (〒114-0032)